



「歌舞伎鑑賞教室」公演 観劇

レディースの会2回目の見学会は、昨年の皇居内見学に続き、今年は6月7日(日)、国立劇場で開催されている「歌舞伎鑑賞教室」公演を楽しみました。

この「鑑賞教室」と称する公演は、歌舞伎だけでなく、文楽や能もあり、初心者を対象にして「歌舞伎(文楽・能)の魅力」を伝えようというもので、若手役者による解説と、充実した俳優による人気のある演目、一幕だけを上演するものです。

古典芸能と言いますと、どうしても敬遠しがちですが、この公演は気軽に楽しめるものです。

平日は高校生から大学生まで多くの学生で賑わい、また、近年は“社会人対象”の公演も企画されています。

今回の「解説・歌舞伎のみかた」は、特になかなか見られないものでした。毎回、舞台の大きさや構造の説明があるのですが、今回はそれに加えて、舞台上に一人の役者が登場。何と、男優がお化粧をしてから女性の衣装をまとい、女性らしい仕草をするまでを、解説役の役者さんが説明していきます。会場から男女2人の観客がその仕草に挑戦するのも楽しめた企画でした。

演目は「壺阪霊験記」。主演は片岡孝太郎。歌舞伎に疎い人でも名前は聞いたことがあるような役者、演目でした。

女性だけの校友会(稲門女性ネットワーク)の留学生支援活動とともに参加する形でしたが、留学生との交流も楽しめました。

私達参加者は男性会員も加わり10名。この公演が初めての方も多く、終演後に遅い昼食を共にしながら、本当に歌舞伎を気軽に楽しめたと喜びを分かち合いました。

(幹事 昭41文 堀 美知子)

